



S-900Kの基本的な使い方

洗浄剤のI-typeでの簡易説明ですから、その他詳しい内容は取扱説明書をご覧ください。情報はホームページにも記載していますので参考にして下さい。

1



配置します

ノズルが無理なく動くような配置にします。
タンクの固定は「取扱説明書」をご覧ください。
掃除機もホースに無理がかからないような位置に置きます。
掃除機にフットスイッチを接続の場合は、踏みやすい位置に置きます。

2



掃除機に接続します

掃除機の吸引力は弱にして、接続部の調整弁は開けておきます。
掃除機の吸引力は弱いものでも十分に使えます。

ワンポイント:実際にノズルを濡らしてから吸引力は調整します。
レコード盤が吸い付くようなら強すぎます。

3



洗浄液をセット

容器に原液を入れてから水を足して希釈してください。
希釈してからスポンジを入れてください。
スポンジが十分に洗浄剤を吸込むようにします。

※ノズルを付けてノズルから液ダレしないようにします。

4



ノズルでブラッシング

- ①ノズルに洗浄剤を付けてレコード盤に移動します。
- ②ノズルがレーベルに触れないように置いて下さい。
- ③ノズルを動かさずにレコードを左に1回転してください。
- ④汚れに応じて回転数は調整します。

※レコード盤はゆっくり、力をかけずに回してください。
※汚れが多い場合は、洗浄剤を替えてください。

5



バキュームで吸い取ります

- ①掃除機のスイッチを入れます。
- ②ノズルを置いてからレコードを左回転します。
- ③1～2回転で吸い取れるように吸引力を調整します。
- ④吸い取りが終わったら掃除機の電源を切って下さい。
- ⑤レコード盤を裏返して片面をクリーニングします。

注意:電源スイッチには濡れた手で触らないで下さい。

6



レコードを乾燥します

洗浄剤I-typeは速乾性ですから乾燥は速いのですが、より早く乾燥したい場合は、レコード盤を回転させてください。
その他の乾燥を早くする方法は「取扱説明書」をご覧ください。
乾燥後にレコード再生してノイズや針へのゴミ附着など確認します。
問題があったら再度洗浄します。

※ノイズが消えない場合に目に見えないキズの場合がありますので念入りにチェックします。